

12月 8-14日

イザヤ 6-8章

75番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分)

神の言葉の宝



1. 「ここに私がおります！ 私を遣わしてください！」 (10分)

イザヤはためらうことなく、神の預言者になることを志願した。 (イザ 6:8。 イ-1 93-95 ページ 13-14 節。)

イザヤが引き受けようとしていた割り当ては大変なものだった。 (イザ 6:9, 10。 イ-1 95-96 ページ 15-16 節)

イザヤの預言者としての務めは、イエスが行うことを予表していた。 (マタ 13:13-15。 イ-1 99 ページ 23 節)



じっくり考えてみよう 進んで行う気持ちを
どのように強めることができるだろうか。

2. 宝石を探し出す (10分)

イザ 7:3, 4 エホバはイザヤに言った。「どうか、アハズに会いに行ってほしい。あなたの子シェアル・ヤシュブ(m*残りの者だけが帰る)と共に、洗濯人の野原に至る街道沿いにある、上の池の水道(*水路)の端に行きなさい。4アハズにこう言わなければならない。『冷静でいるようにしなさい。恐れてはいけない。これら2つのくすぶる丸太の端くれのために、シリアのレツインとレマルヤの子の燃える怒りのために、心を弱くしてはいけない。

なぜエホバは邪悪な王アハズに救いの手を差し伸べたのか。

(塔 06 12/1 9 ページ 4 節) なぜエホバは邪悪なアハズ王に救いを差し伸べたのでしょうか。シリアの王とイスラエルの王は、ユダのアハズ王を退位させ、代わりにダビデの子孫ではないタブエルの子を傀儡王として任ずる計画を立てました。この悪魔の企てが功を奏するなら、ダビデと結ばれた王国契約の効力は断たれることになります。エホバは、約束の「平和の君」が出る家系を守るために、アハズに救いを差し伸べました。—イザヤ 9:6。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。 (イザヤ 8:18) 私と、エホバが与えてくださった子供たちとは、イスラエルの中のしるしました奇跡である。シオンの山に住んでいる、大軍を率いるエホバからのしるしました奇跡なのである。

*** イ-1 第9章 116ページ 32節 逆境にあってもエホバに依り頼みなさい ***

そうです、イザヤ、シェアル・ヤシュブ、マヘル・シャラル・ハシュ・バズは、ユダに対してエホバが持たれる目的のしるしなのです。同様に今日、イエスとその油そそがれた兄弟たちも、しるしとしての役割を果たしています。 (ヘブライ 2:11 - 13) そして、彼らの行なう業には「ほかの羊」の「大群衆」も加わっています。 (ヨハネ 10:16。啓示 7:9、14) 当然ながら、しるしは価値あるものとなるためには、置かれた環境の中で際立っていなければなりません。それと同様に、クリスチャンがしるしとしての任務を果たすためには、この世とは違う者、エホバに全幅の信頼を置き、神の目的を大胆にふれ告げる者として際立っていなければなりません。

33 それで、すべての人は、この世の規準ではなく、神の規準を守らなければなりません。大いなるイザヤであるイエス・キリストにゆだねられた、『善意の年とわたしたちの神の側の復しゅうの日とをふれ告げる』という任務をさらに推し進めつつ、恐れを抱くことなく — しるしとして — 際立った者でありつづけましょう。

3. 聖書朗読

(4分) [イザ 8:1-13 \(教励 第5課\)](#)

野外奉仕に励む

4. 会話を始める

(3分) 家から家で。「愛を込めて」の冊子の[付録A](#)から1つの点を伝える。 ([愛込 レッスン4 ポイント5](#))

5. 再び話し合う

(4分) 家から家で。聖書レッスンを勧める。 ([愛込 レッスン9 ポイント3](#))

6. 再び話し合う

(5分) 家から家で。聖書レッスンをその場で行ってみる。 ([愛込 レッスン9 ポイント5](#))

クリスチャンとして生活する

[83番の歌](#)

7. 家から家の伝道 私たちのトレードマーク (15分) 討議。

エホバの証人は、イエスと1世紀のクリスチャンに倣って家から家の伝道を行うことで知られています。 ([ルカ 10:5。使徒 5:42](#))

もちろん、新型コロナウイルスのパンデミック中は家から家の伝道を行えませんでした。それで、手紙伝道や電話伝道、また普段の会話の中で良い知らせを伝えました。こうした面でも伝道のスキルを磨けたのはうれしいことです。それでも、良い知らせを伝える主な方法が家から家の伝道であることに変わりはありません。あなたは定期的に家から家の伝道に参加できますか。家から家の伝道は、次の点でどのように役立ちますか。

- 区域を徹底的に回る。

- 教える能力を伸ばし、勇気、公平さ、自己犠牲といった資質を磨く。
- 聖書レッスンを始める。**



「どんな天気でも伝道しています」の動画を再生する。次の質問をする。

- フェロー諸島で奉仕する自己犠牲的な兄弟姉妹からどんなことを学びましたか。（悪天候が多くても伝道に出かける。伝道 11:4）

8. 会衆の聖書研究 (30分) 大 レッスン 42-43

閉会の言葉 (3分) | [123番の歌と祈り](#)

（イザ 6:1-8:22） ウジヤ王が死んだ年に、私はエホバを見た。その方は高い所にある王座に座つており、長い衣の裾が神殿いっぱいに広がっていた。2 セラフたちがその方の上の方に立っていた。おののおの6つの翼を持ち、2つで顔を覆い、2つで足を覆い、2つで飛び回るのであった。3 互いにこう言っていた。「聖なる方、聖なる方、聖なる方、大軍を率いるエホバ。全世界にその方の栄光が満ちている」。4 その大きな声で扉の軸が震え、神殿*は煙で満たされた。5 私は言った。「災いだ！私は死んだも同然だから*。私は唇が汚れている者で、唇が汚れている民の中に住んでいるのに、大軍を率いる王エホバを見てしまった！」6 すると、セラフの1人が私の所に飛んできた。手には、祭壇から火箸で取った、赤く燃える炭を持っていた。7 それを私の口に触れさせて、言った。「見なさい！これがあなたの唇に触れました。あなたの過ちは除き去られ、罪は贖われました」。8 それから私はエホバの声を聞いた。「私は誰を遣わそうか。誰が私たちのために行くだろうか」。そこで私は言った。「ここに私がおります！私を遣わしてください！」9 すると神は言った。「行って、この民に言いなさい。『あなたたちは何度も聞くが、理解しない。何度も見るが、何も知るようにはならない』。10 この民の心を鈍くし、耳をよく聞こえなくし、目を閉ざしなさい。彼らは目で見ることも、耳で聞くことも、心で理解することもなく、私のものとに帰らず、癒やされることはない」。11 私が「エホバ、いつまでですか」と尋ねると、神は言った。「町々が廃墟と化して誰も住まなくなり、家々に住人がいなくなり、土地が荒れ果てるまで。12 エホバが人々を遠くに移し、土地が広い範囲にわたって荒廃するまで。13 ただし、民の10分の1は残る。民は大木のように、巨木のようにまた燃やされるが、切り倒された後に切り株が残る。聖なる子孫がその切り株となる」。

7 ユダの王、ウジヤの子ヨタムの子アハズの時代に、シリアのレツィン王と、イスラエルの王でレマルヤの子ペカハが、エルサレムに戦いを仕掛けにやって来た。しかし、攻め取ることはできなかった。2 「シリアがエフライムと手を組んだ」という知らせがダビデの王家に伝えられた。アハズの心と民の心は、風に揺すられる森の木々のように動搖した。3 エホバはイザヤに言った。「どうか、アハズに会いに行ってほしい。あなたの子シェアル・ヤシュブ*と共に、洗濯人の